

(別紙様式)

令和7年度学校評価の実施状況等調査

学校名	南風原高等学校
記載者名	譜久村史奈子

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	2	1	52	0	4	60

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	5	0	0				5

※その他 ()

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	113	498	0				611

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	<input checked="" type="checkbox"/> ①ホームページ	<input type="checkbox"/> ②学校便り	<input type="checkbox"/> ③保護者への説明会	<input checked="" type="checkbox"/> ④その他()
学校関係者評価	<input checked="" type="checkbox"/> ①ホームページ	<input type="checkbox"/> ②学校便り	<input type="checkbox"/> ③保護者への説明会	<input checked="" type="checkbox"/> ④その他()

5 令和6年度の学校評価を踏まえ、令和7年度改善した点 (いじめ問題に関すること等)

①ICTを活用した授業改善、進路指導の充実、授業規律の確立、生徒の規範意識の高揚への取組。
②生徒実態把握に関するアンケートの実施、カウンセリング通信の発行、早めの保護者面談の実施。
③アンケート等のForms活用、連絡事項をTeamsで行い、Classiを活用した学力向上の取組。
④人権講話、性に関する講話、特別支援教育講話等を通して生徒の人権意識を高めた。
⑤生徒会執行部とPTA役員が校則検討会を持ち、校則や生徒指導方法について検討した。

6 令和7年度の学校評価で明らかになった課題

①授業への取り組みと家庭学習の定着
②課外活動・生徒活動の充実
③部活動への加入率のさらなる向上
④学校の生徒指導方針について生徒、保護者との共通理解
⑤家庭との連携及び広報の充実

7 令和7年度の学校評価を活かした令和8年度の改善点

①生徒会活動や部活動の在り方を検討し、生徒が主体的に参画できる機会を増やす。
②ICTを活用した家庭学習支援や、学習の習慣化に向けた具体的な指導体制を強化する。
③HPやアプリ等を活用した迅速かつ丁寧な情報発信を継続し、家庭との連携を深める。
④校則や生徒指導方法について生徒・保護者・学校評議委員会等の継続検討を進める。
⑤教職員のさらなる業務効率化を図り、生徒と向き合う時間を確保する。